

米国学術研究の動向

政府支援の研究開発センター(FFRDCs)の歳出総額は FY2009 で 152 億ドルを計上

国立科学財団(NSF)の調査によると、全米 39 機関に及ぶ政府支援による研究開発センター(Federally Funded R&D Center: FFRDC)の歳出総額は FY2009(会計年度)において、前年比 3.5%増の総額 152 億ドルであったことが分かった。

39 機関で最も多く支出を行っていたのは、ロスアラモス国立研究所で 22 億ドル、次いでサンディア国立研究所が 20 億ドルといずれも米国エネルギー省(DOE)がファンディングを行う機関であった。また、3 番目は米国航空宇宙局(NASA)がファンディングを行うジェット推進研究所の 17 億ドルであった。

なお、本調査によると、FFRDC の歳出総額のうち基礎研究に充てられた研究費は全体の 38.5%、応用研究に充てられた研究費は全体の 30.5%、開発費に充てられたものは全体の 31.0%であったという。

(参考)

国立科学財団(NSF)ウェブサイト

<http://www.nsf.gov/statistics/infbrief/nsf11310/>

(日本学術振興会 ワシントン研究連絡センター)